

NO！リニア

No. 172

2024年5月9日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス↓



リニアが失敗すると国の資金投入の可能性！ 「石川和男のポリシーリテラシー」で指摘！

政策アナリストの石川和男氏が5月5日、自身がパーソナリティを務めるニッポン放送Podcast番組「石川和男のポリシーリテラシー」に出演し、リニアの必要性について議論しました。ゲスト出演した作家・ジャーナリストの金田信一郎氏は「今の東海道新幹線、困っていますか？」と問いかけました。金田氏の父親が住む実家は長野県飯田市にあり、同市内にリニアの新駅ができることが決まっているが「必要ないんじゃない？と思っている」ときっぱり言いました。

金田氏は「私はリニアが大阪まで行くことはないと思う。名古屋まで行けるかも微妙、五分五分くらい」と言及し、その理由として、人口減などによる需要の減少、インバウンドニーズもオーバーツーリズムの問題からこれ以上は見込めないと指摘しました。「富士山は見えないし、京都に寄らない。出張需要も、今後はますますリモート対応が増える」と予測しました。

また、「東海道新幹線並みの料金で、東京・名古屋・大阪という大需要地を東海道新幹線と並行して走るので、新幹線の需要は半分になる。そのため、年間4,000億円ほどのコストがかかるリニアは、まずペイしないと社長が一度言ってしまったことがある。リニアがペイしないということは、東海道新幹線もペイしなくなり、共倒れになる。かといって、高くすると飛行機に流れる」と述べました。

石川氏は「リニアの報道は大阪・関西万博と逆で“ポジティブ報道”ばかり。いずれ国策的な扱いとなり、万が一、JRが事業に失敗した際には国の資金を入れるという可能性もある。今回の静岡県知事辞職に至ったのを機に、メリット・デメリットを並べて国民的議論をするべき」と提案しました。

石川氏と金田氏の対談は、まさしくさの通りです。リニアに幻想を抱かず、現実を直視することが最重要だということです。